



平成5年12月25日 水保自治会発行

ごあいさつ

水保町自治会長 小山豊博

平成5年もはや暮れんとする今日、会員の皆様には、景気の回復をも見ず低迷する本年度から脱皮するため、来年度へ向けての計画や準備に、日夜ご健闘のことと存じます。

さて、「みんなで考え、みんなで作り、みんなで参加しよう」との当初の自治会のテーマに、137世帯の皆様がこぞってご同調賜りまして、大きな過ちもなく今日を迎えさせていただきました。会員の皆様お一人お一人の深いご理解とご協力に對しまして、役員一同深く感謝致しております。

しかし、水保町には、まだまだ解決して行かねばならない諸問題がございます。近々取り組まねばならない農村下水道、ドブ化した家庭排水路の整備、百姓離れの傾向と合理化されねばならない農業経営など、住みよい町づくりのために、今後皆様と共に考え、共に努力して行かねばならないと存じます。

本日、第一回の水保通信「コスモス」の発刊を祝い、この紙上をお借りして、会員皆様お揃いで希望ある新春をお迎えになられんことを祈念してご挨拶と致します。

コスモスのまち水保



長雨と冷夏で、農作物が全国的に大被害を受けあちこちで米泥棒まで発生するという、ありがたい一年でした。しかしながら、その暗さを吹きとばし、明るくやさしい風を運んでくれたのが、わがまち水保に突然出現したコスモスの花園でした。

9月29日、京都新聞の第一面に、可憐に咲き乱れるコスモスがカラー写真で紹介されてから、訪ねてくる人が毎日毎日ふえるばかり。平日でも雨の日でも、早朝から夕暮れまで、遠い県外からもやって来て、カメラを構える人々で賑わいました。「水保に新名所！」と、他の新聞でも大きく取り上げられました。

列系図橋のたもとと堤防の荒地15アールほどを自治会役員が耕して、4リットルの種をまきました。7月にまいた種が雨でよく育ち、9月から10月一杯まで次々に咲き乱れて、みんなの目を楽ませてくれたのです。

これほどの反響があるとはだれも思ってもみませんでした。花の美しさに心をひかれ、自然に親しむ喜びを求める人々が、こんなにもたくさんいるのですね。

来年もいっそう美しい花を咲かせたいものです。そして私たちの心にも、明るくやさしいコスモスをいつも咲かせていきたいものです。

平成5年度自治会行事・事業の経過

- 5月 5日 お祭り
- 7月 4日 慰霊祭
- 7月 9日 コスモス園造成、播種
- 8月 1日 新消防ポンプ入魂式
- 8月15日 盆踊り
- 9月15日 敬老会
- 9月26日 町民運動会

その他 交通安全運動への参画
フラワーポット花植え替え

年3回

以上の行事・事業が、営農ビジョン、各種団体、自治会員の皆様のご協力のお蔭で、年々充実した内容で、盛大に挙行できましたことを、大変うれしく思っております。

婦人消防隊の発足に伴い、だれでも操作できる新ポンプを購入し、付帯工事も完了しました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

コスモス園の造成につきましては、新聞各社の宣伝もあり、全く予想もなかった反響を呼び、連日大勢の観光客で賑わいました。この人気を維持するためには、皆様のご協力が必要と思われまます。

11月28日には、交通安全優良自治会として、市および安全協会から表彰を受けました。これは、自治会役員たちの努力もさることながら、町を良くしていきたいという会員皆様のお考えが年々生き生きと反映されていることの現れでございます。

機関紙の発刊にあたり、これらのことに對しまして、自治会として厚くお礼を申し上げ今後のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆こんなことに取り組んでいます☆

| | 検討課題 | 実施状況 |
|-------|--|---|
| 営農部 | ◎水保農業ビジョン ①農業問題整備 ②集落転作の問題 ③近代化施設機械の問題 ④その他営農課題 | 農業従事者が高齢化し後継者がいないとか、将来は農協に委託するか経営を減らしたいという、暗い見通しが、昨年度実施したアンケート調査で明らかになりました。当部会では、集落の農業は農協や他町の人の入作に頼らず、地元の人が消滅していくのが理想と考え、補助金が出るうちに、作業を請け負いできる組織の結成をめざしています。関心のある方のご連絡をお待ちします。 |
| 環境整備部 | ◎水保環境整備ビジョン ①町内の道路、河川環境整備計画 ②農村下水道整備計画 ③野洲川河川敷地開発計画 ④その他環境整備 | 集落内の環境改善のために、昨年度2回にわたり集落内点検を行い、アンケート調査を実施しました。農村下水道の整備について、自治会員全員の同意をいただき、平成7年度着工に向けて、市役所へ要望が出されているところです。この12月に、下水道組合の設立について検討します。道水路の改善については、野洲川河川敷の跡地利用計画と連携して、検討を進めます。 |
| 文化部 | ◎水保まちづくりビジョン ①お盆行事の見直し検討 ②運動会の見直し検討 ③敬老会の見直し検討 ④お祭り行事の見直し検討 ⑤その他まちづくりに必要な行事課題 | 水保の諸行事について、昨年から今年8月まで、通算15回の部会を開いて検討を進めました。この間、皆様からアンケートをいただき、十分に生かすよう努めました。すでにご承知のように、盆踊りでは、各種団体の参画や地元の方による音頭とり、カラオケ大会の導入など。敬老会では、セミプロの方の出演や各種婦人会のご協力による接待。運動会では、参加しやすく変化のある種目への変更や賞品の工夫など。その他、祭りについてなど、自治会に具体的な提言を行い、実施していただきました。 |
| 研修部 | ◎水保社会教育ビジョン ①共同地区懇談会 ②青少年育成問題 ③生涯学習関係 ④その他社会教育課題 | 昨年度は、速野学区を代表して、水保共同地区懇談会(3回)を開催しました。水保のまちづくりの課題について、皆様からも貴重なアンケートをいただきました。今年は、その後をうけた2年目の取り組みを深めます。特に、「人権を重んじ信頼し合える水保まちづくり」をめざす同和教育の研修と、広報紙の発行に重点を置いた活動を進めています。 |

♡ご支援をよろしく♡

水保集落営農ビジョン

平成5年度水保町営農ビジョン組織

◎事業目標

21世紀を目前にして、時代と共に流れ行く複雑な社会環境の中で、受け継いで来た農業も、農業をとりまく環境の変化と共に変容を遂げつつあります。純朴な農村として受け継がれて来た水保町も、都市化の進展や生活スタイルの多様化などを背景に大きく変わろうとしている今、新しい時代変化に対応しながら住み良い町づくりを考へ出す事が、我々町民に課せられた今の大きな義務と思われまふ。このために本集落が地域の特性に、創意工夫をこらし、個性あふれる地域、水保町の推進を図る事が21世紀に向けて、住みよい明るい水保町を造り上げる重要なポイントであろうと思います。

このため、水保営農ビジョン組織を充足し、現在の実態を把握しながら将来の水保町を考へ、想像し、大きく夢ふくらませながら、活力あふれた住みよい、明るい住環境を造り上げ、「未来に残していきたい地域」水保町を造り上げたいと思います。

◎基本方針と目的

水保町営農ビジョン組織「水保まちづくり推進会議」は、水保町自治会の附属機関として自治会の諮問に応じ将来の水保町を想像し、住みよい環境を造り出す方策を検討し、自治会への提案をしながら自治会組織に助力するものである。

| | |
|-----------------|--------------|
| 自治会 | |
| 会長 | 小山 豊博 |
| 副会長 | 西村清昭 会計 市山八郎 |
| 協 議 員 | |
| 水保まちづくり 推 進 会 議 | |
| リーダー | 下村 幸四郎、西村 清昭 |
| 連 絡 協 議 会 | |

| 営農部会 | 環境整備部会 | 文化部会 | 研修部会 |
|--|--|--|--|
| 部長 小山定則 | 部長 今井博典 | 部長 西村博雄 | 部長 西村重彦 |
| 副部長 今井浩二 | 副部長 村井己紀 | 副部長 吉川初枝 | 副部長 市山八郎 |
| 今 井 井井村井山村井村井 今 | 西 今 | 今 井 井 井 井 井 井 井 井 今 | 西 今 |

意見聴取機関

- 各種団体役員
- 各組組長
- 水保町民全体